

令和元年度 事業計画書

公益財団法人新宮町文化振興財団

公益財団法人新宮町文化振興財団の令和元年度事業計画は次のとおりとする。

(1) 芸術文化の普及振興事業

世良公則 **Knock・Knock 2019 with 宇崎竜童**

世良公則が様々なゲストを迎えておくる特別企画「Knock・Knock」。ゲストに宇崎竜童を迎え、究極のアコースティックセッションをお届けする。

公演日 4月20日(土)

こまつ座「化粧二題」

女優の1人芝居の傑作と名高い『化粧』を原型とし、女優の息子の立場を書き加え、登場人物それぞれの1人芝居を2幕構成で上演、2人の「自己発見劇」として生まれた作品。

作 / 井上ひさし 演出 / 鶴山仁(文学座) 出演 / 内野聖陽、有森也実

公演日 6月30日(日)

古澤巖ヴァイオリンリサイタル

「神のヴァイオリン」とも称される古澤巖。1979年日本音楽コンクール1位。1982年桐朋学園大学を首席で卒業。クレモナの博物館にある最高峰のストラディバリウス「サン・ロレンツォ1718」を宗次コレクションより貸与。

公演日 10月5日(土)

風間杜夫の落語会

毎年多数の高座にあがり、落語家としても人気の俳優・風間杜夫による落語会。ゲストに柳家三三を迎え、話芸の魅力をお届けする。

公演日 2月9日(日)

(2) 地域住民の芸術文化活動の活性化促進

ちいき文化支援プログラム

地域の方々の自主的なホール公演の取組みを広報活動等で支援。

あわせて、地域で活躍するアーティスト(演奏家、落語家、映画監督、演劇人等、ジャンルは問わず)の活躍する場を提供するとともに、地域の皆さんに質の高い公演を身近にお楽しみいただく機会を提供する。

「おでかけそびあ」シリーズ

地域子どもたちが、芸術文化に触れる“はじめの一步”を提供。

親しみをもって芸術・文化の世界に触れる機会を提供することで、芸術文化の魅力を家族で発見していただき、創造力、表現力、コミュニケーション力、感性を育むための事業とします。ひとり一人に、間近に体験してもらうための取組として、小ホール及び多目的ホールにて開催。毎回、大変好評を得ている。

対象/幼児～小学生(低学年) 年3回実施 (vol.28～vol.30 *24年度からの通算)

そびあ夏休み映画上映会

小学生を主な対象とした、家族で楽しめる映画上映会。

クールシェアの一環としての位置づけ、貢献も踏まえ、開催。

公演日 8月18日(日)

そびあマルシェ 2019

「精華女子高等学校吹奏楽部コンサート」と「映画上映会」、スポット講座の講師陣による「癒しの雑貨展」をプログラム。町の魅力を発信するために、地元の農産物、海産物、グルメの出張販売を行う「しんぐう市場(マーケット)」を同時開催。

開催日 10月27日(日)

ピアノリレーコンサート

開館以来、毎年実施している参加型事業。子どもたちはもちろん、一般の方の参加申込も増えている。演奏の様子をプロジェクターで場内に映し出すなど、毎年演出を凝らしている。

公演日 3月8日(日)

(3) 学習活動の機会提供

住民参加型公演 ミュージカル『暁(あかつき)のランナー』

地域住民を対象に参加者を公募し、人としての価値観、夢、希望、葛藤といったものを基軸としたオリジナルミュージカルを創作。稽古と並行して新宮町の歴史や自然、伝統、文化を感じられるようなワークショップをプログラムする。

結果として、新宮町の風土や人の温かさ、豊かさ、未来への展望、息吹を感じられるような新宮発！オリジナルの作品づくりを追求する取り組みとする。

一般財団法人自治総合センター 地域の芸術環境づくり助成事業。

公演日 2月23日(日)

そぴあスポット講座

地域の皆さまに学習、体験の機会を提供することを目的として様々な 1 日体験講座を夏と冬に開催。

(4) 広報事業

広報活動

情報誌「そぴあまがじん」を年 4 回発行し、広報活動を行う。また、ホームページやフェイスブック、ユーチューブを活用した情報発信に努める。

情報誌及びホームページについては、広告枠を設け、一定の広告収入を確保する。

友の会

そぴあしんぐう友の会「Club Sopia」事業の継続。

「ユメニティのおがた」「なかまハーモニーホール」「岡垣サンリーアイ」との友の会事業を中心とした連携「PLUS+4LINE」事業を継続し、効率的な広報活動への寄与も図る。

受託事業

新宮町からの受託事業として、「新宮町平和祈念映画会」を実施。

以上の 4 事業分野を核として、予算の範囲内で様々な文化振興事業に積極的な取組みを行う。